

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覽

主食
緊急事態宣言の再発令により、外食を控え内食をする動きがあったため、内食・備蓄需要は引き続き堅調。主食計では前月よりも伸長し、前年比102.1%と前年を上回った。
「袋インスタント麺」：とりわけ、辛さを訴求する商品が好調。内食機会が増えるなか、食事に飽きないよう工夫しているためか。
「スパゲティ」：とりわけ、輸入商品が好調。消費者の節約志向が強まるなか、比較的低価格であることが支持されていると推察。
「プレミックス」：ホットケーキ・パンケーキなどのお菓子作り需要が引き続き好調。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
主食 TOTAL	102.1	1.1
米	103.8	2.8
米飯類	106.5	0.1
食パン		
菓子パン・調理パン		
シリアル類	107.2	-3.8
袋インスタント麺	122.8	5.8
カップインスタント麺	102.4	2.2
乾麺	113.9	-3.7
生麺・ゆで麺	107.8	0.9
スパゲティ	120.4	2.6
マカロニ類	114.4	1.6
小麦粉	113.6	4.2
てんぷら粉	105.6	-3.9
唐揚げ粉	104.3	1.3
パン粉	107.8	2.6
プレミックス	130.3	1.3

調味料
活況な内食需要の影響により、前年比107.9%と好調を維持。
「シロップ類」：家庭内で菓子やケーキなどを子供たちと一緒に手作りするといった需要が、依然として堅調。11月にTV番組で特集され注目されたメープルシロップの好調が継続。
「エッセンス類」：とりわけドライイーストやベーキングパウダーが好調で、パンやお菓子作りの需要によるものと考えられる。
「香辛料」：料理の味付けに変化を付けて飽きを防ごうと、需要が高まっている。とりわけにんにくが好調で、免疫力向上の効果が注目されているためと推察。
「料理酒、本みりん、ゴマ油」：内食需要により、好調を維持。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
調味料 TOTAL	107.9	0.2
醤油	107.5	-0.1
味噌	105.5	1.2
食塩	104.9	-2.6
料理酒	119.5	2.8
砂糖	102.1	0.4
低カロリー甘味料	117.1	-1.7
シロップ類	134.1	0.3
蜂蜜	119.2	-3.0
ソース	109.5	0.4
ケチャップ	109.1	-0.1
マヨネーズ	105.6	-3.7
ドレッシング	103.8	-3.5
香辛料	117.2	2.8
エッセンス類	122.8	10.9
焼肉しゃぶしゃぶのタレ	108.9	-0.8
食酢	100.8	0.1
ぼん酢	105.8	-2.4
本みりん	116.7	1.4
みりん風調味料	100.1	-1.8
風味調味料	102.6	-3.7
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類	102.4	-0.6
つゆ・煮物料理の素	105.7	-1.7
サラダ油・天ぷら油		
ゴマ油	121.4	4.1
バター	119.9	4.9
マーガリン類		
チーズ	108.0	2.3
ジャム・ママレード	104.1	0.7

※網掛け
前年比 105%超: 107.9

加工食品①
前月よりも伸長し、前年比110.9%と前年を上回り好調を維持。
「パスタソース」：主食のスパゲティと同様に、活況な内食需要を背景として、前月よりも伸長。とりわけ、ペペロンチーノやたらこなどの風味で、茹でたパスタにあえるだけで使用できる商品が、簡便性の高さから好調。
「メニュー専用料理の素」：キムチ鍋・カレー鍋などの鍋つゆのほか、麻婆春雨・かに玉などの料理の素が好調。
「冷凍水産」：シーフードミックス・貝類などが好調。パスタやピラフなどさまざまな料理に活用できるため人気となっていると推察。
「冷凍農産」：内食やお菓子作りの需要により、ブロッコリーや野菜ミックスなどの野菜のほか、果実も好調。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
加工食品① TOTAL	110.9	2.1
春雨・くず切り	110.4	4.2
こうや豆腐		
海苔	108.1	0.2
ふりかけ		
お茶漬けの素	100.0	-5.8
まぜご飯の素	117.8	1.8
カレー	105.6	-1.5
シチュー	114.3	6.4
パスタソース	119.5	4.1
シチューベース	115.1	3.9
メニュー専用料理の素	117.7	3.8
スープ類	108.6	1.9
味噌汁・吸物類	101.8	-0.7
調理用スープ	111.4	0.6
冷凍水産	142.6	17.7
冷凍農産	124.7	10.7
冷凍調理	110.9	2.2

加工食品②
前月よりも伸長し、前年比110.3%と前年を上回り好調を維持。
「野菜缶詰」：内食需要により、スイートコーンやトマトなどが好調。
「パウチ入り食材」：スイートコーンやカットトマトなどの野菜のほか、果実も好調。野菜では、免疫力向上の効果が注目されたためか、とりわけサトイモの好調が続いている。
「和風食品」：季節商品であるおでんのほか、たこ焼きや鯛焼きなどのチルド商品も好調。
「洋風食品」：簡便に準備できる、ハンバーグやフライなどのチルド商品が人気。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
加工食品② TOTAL	110.3	1.0
魚介類缶詰	101.0	-2.1
野菜缶詰	111.6	5.1
フルーツ缶詰	101.6	0.0
畜肉缶詰		
パウチ入り食材	118.6	-1.0
和風食品	113.8	1.5
洋風食品	118.3	7.0
中華風食品	112.7	3.3
畜肉ハム	106.0	0.6
畜肉ソーセージ	106.7	-0.1
魚肉ソーセージ	102.4	-3.7
焼豚	110.9	3.2
ベーコン	110.6	-1.3

加工食品③
前月よりも伸長し、前年比106.2%と前年を上回り好調を維持。
「納豆」：TV番組で、免疫力向上効果があると特集された影響のためか、前月よりも伸長。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
加工食品③ TOTAL	106.2	0.8
かまぼこ	102.0	-3.2
ちくわ	108.1	-0.5
はんぺん	104.9	-3.1
揚げ物	108.0	-0.4
納豆	111.2	7.3
煮豆	102.6	-3.4
佃煮	103.5	-2.7
もずく・めかぶ		
豆腐類	104.8	-0.3

菓子
前月よりもわずかに伸長し、前年比100.8%と前年をやや上回った。
外出自粛の影響により、キャンディやチューインガムの不調は継続。
「ビスケット&クラッカー」：菓ごもり需要により、引き続き好調。個包装の商品が、衛生的で感染予防にもなり、家族などと分けて食べやすいことから人気となっていると見て取れる。
「玩具メーカー菓子」：人気TVアニメのキャラクター商品の好調が続いており、前年を大きく上回った。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
菓子 TOTAL	100.8	0.6
チョコレート	103.9	-0.6
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	109.0	4.2
スナック	106.3	0.7
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子	191.8	44.0
栄養バランス食品	102.0	-3.8

嗜好品
前月よりもわずかに落ち込んだものの、前年比101.3%と前年を上回った。
「ホイップクリーム」：手作り菓子需要により、引き続き堅調。
「レギュラーコーヒー」：とりわけ豆タイプの商品が好調。家庭で過ごす時間が増えたため、手間をかけてでも本格的なものを飲みたいという需要の高まっているようだ。
「ココア」：カルシウムを豊富に含み、子供の成長への効果を訴求する商品が好調。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
嗜好品 TOTAL	101.3	-0.3
アイスクリーム	100.3	-0.5
デザート類		
ペビーフード		
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	132.2	17.5
インスタントコーヒー	107.0	-1.6
レギュラーコーヒー	112.1	0.9
紅茶	113.4	4.3
ココア	120.1	9.7
日本茶	103.8	0.3
麦茶	107.9	-1.9
中国茶	108.1	-4.5

飲料
緊急事態宣言の発令によって外出自粛の動きが強まったこともあり、前月よりも落ち込み、前年比93.5%と前年を下回った。
「炭酸飲料」：果汁炭酸の新フレーバーの商品のほか、プレミアム感を訴求するジンジャーの新品種が好調。
「乳酸飲料」：菓ごもり需要により、濃縮タイプが好調。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
飲料 TOTAL	93.5	-1.9
牛乳	102.0	-0.9
ヨーグルト		
乳酸菌飲料		
豆乳		
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース		
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料	108.4	3.3
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク		
ミネラルウォーター類		
乳酸飲料	103.6	3.5

アルコール
緊急事態宣言の発令によって外出自粛の動きが強まり、家飲み需要が高まったことで前月よりも伸長し、前年比107.3%と前年を上回った。
「ビール」：糖質ゼロを訴求するビールの新商品の好調が続いているほか、2020年10月の酒税法改正により増税された新ジャンルも、リニューアル品の寄与もあり、前年を上回る水準で推移。
「ワイン」：家飲み需要により、スティールワインやシャンパンが好調。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
アルコール TOTAL	107.3	2.7
ビール	105.9	2.9
ウイスキー	107.6	-1.0
ワイン	108.1	4.3
日本酒	102.9	3.2
焼酎	103.9	1.7

日用雑貨
前月よりも落ち込んだものの、前年比105.6%と前年を上回った。
新型コロナウイルスの国内感染確認から1年が経ったことで、ぬれティッシュや洗剤・クリーナーなどの需要は底堅いものの、前年比の伸びは緩やかになった。
「家庭用手袋」：内食需要の高まりにより、使い捨てタイプが伸長したと推察。北陸・信越での大雪の影響のためか、防寒タイプも伸長。
「使い捨てカイロ」：前年の暖冬の反動により伸長。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
日用雑貨 TOTAL	105.6	-4.1
歯ブラシ		
歯磨き	100.9	-5.6
義歯用剤	107.4	-4.5
マウスウォッシュ		
洗濯用洗剤	111.3	-2.6
中性洗剤	100.2	-4.2
漂白剤	104.2	-4.5
柔軟剤	109.5	-3.4
台所用洗剤	120.8	-2.8
住居用クリーナー	123.7	4.5
トイレ用クリーナー	108.3	-0.8
バスクリナー	115.6	6.5
パイプクリナー	112.6	-13.5
家庭用手袋	150.9	6.5
化学雑巾	107.3	10.2
たわし・スポンジ	105.8	1.0
水切り袋	111.9	-1.6
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤	106.9	1.6
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤	103.5	-0.5
除湿剤	101.5	-4.8
ラッピングフィルム	107.6	-2.0
アルミホイル	113.0	-1.5
食品包装用品	125.7	-0.7
アルミガスケット	108.4	7.5
ティッシュペーパー		
トイレトベーパー	105.4	0.2
ペーパータオル	117.7	-1.2
ぬれティッシュ	106.7	-31.2
使い捨て紙クリーナー	127.2	-4.1
紙おむつ		
大人紙おむつ	101.4	-5.5
生理用品		
絆創膏	123.5	-2.8
使い捨てカイロ	136.7	18.3
綿棒		

ペット
前月よりも伸長し、前年比107.1%と前年を上回った。外出自粛によりペットを飼う人が増えているためか、堅調が続いている。
「ペット用品」：犬猫用だけではなく、魚類・亀用の商品なども好調。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
ペット TOTAL	107.1	1.0
ドッグフード	103.3	1.1
キャットフード	108.8	0.3
ペット用品	109.2	2.1

石鹸・ヘアケア
前月ほどの勢いはないものの、前年比105.0%と前年を上回った。
「石鹸」：前月よりは伸び幅は縮小したが、ハンドジェルやハンドソープが伸長しており、新型コロナウイルス予防対策の需要が引き続き堅調。
「入浴剤」：外出自粛により、家庭での楽しみとして、需要が伸長か。バスソルトや、リラクゼーション効果を訴求するものがとりわけ好調。
「ヘアトリートメント」：ボリュームダウンを訴求する商品がとりわけ好調で、外出自粛により、美容院の利用を控える人も少なく、自身で手入れをする需要が高まっているためと推察される。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
石鹸・ヘアケア TOTAL	105.0	-2.9
石鹸	118.5	-6.4
入浴剤	124.2	6.7
シャンプー	101.9	-3.6
ヘアリンス	104.1	-3.2
ヘアトリートメント	128.0	3.8
アウトバスヘアケア		
ヘアカラー		
育毛トニック	101.8	-2.4
制汗剤		

化粧品
インバウンド需要の縮小に加えて、外出自粛やマスク着用の影響により、とりわけ口紅やファンデーションなどのメイクアップ化粧品の不調が継続。化粧品計では前年比78.4%と前年を下回った。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
化粧品 TOTAL	78.4	-5.1
クレンジング		
洗顔クリーム		
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品
マスクの前年比が前月よりも大きく落ち込んだ影響もあり、医薬品計でも前月よりも落ち込み、前年比81.2%と前年を下回った。
風邪関連薬の総合感冒薬・鎮咳去痰剤・口腔用薬の落ち込みが継続。新型コロナウイルスの感染予防対策として、マスクの着用や手洗いうがいが習慣化されたことで、風邪を発生する人が減少しているためと考えられる。
「マスク」：新型コロナウイルスの感染予防対策の需要は底堅いものの、前年に需要が急拡大した反動により、前年を下回った。
「皮膚用薬」：新型コロナウイルス感染予防対策として、手指消毒剤の堅調が続いているが、前年に需要が拡大した反動で伸び幅は縮小。

カテゴリ	金額前年比 2021年1月	前月差 2021年1月
医薬品 TOTAL	81.2	-20.8
コンタクト用剤		
マスク		
ミニドリンク剤		
漢方薬		
総合感冒薬	101.0	1.0
鼻炎治療剤		
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤		
口腔用薬		
胃腸薬		
整腸薬		
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	124.4	-36.8
目薬		
健康食品	100.2	-2.6

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。